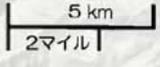


木曽森林管理署管内 身近な国有林散策箇所 南木曽支署管内

木曽森林管理署及び南木曽支署管内では、木曽ヒノキの美林や森林セラピー基地として有名な赤沢自然休養林をはじめ、歴史ある古道、旧中山道など10箇所をご紹介します。

地図上の口枠をクリックすると詳細マップが開きます。



凡 例

国有林

木曽森林管理署管内

- 鳥居峠
- 水木沢天然林(郷土の森)
- 城山史跡の森(風致探勝林)
- 地蔵峠(旧飛騨街道:木曽～開田)
- 油木美林(植物群落保護林)
- 木曽御岳自然休養林
- 赤沢自然休養林

南木曽支署管内

- 阿寺溪谷
- 田立の滝
- 馬籠峠

全10箇所の冊子版は [こちら](#)



森の力でココロもカラダも リフレッシュ



赤沢自然休養林

馬籠峠



●四季の美しさは格別

西は御嶽山(3,067m)、東は木曾駒ヶ岳(2,956m)など中央アルプスに囲まれた木曾川、奈良井川の流域が「木曾」です。四季おりおりのはっきりした違いを楽しむ、自然豊かな地域です。

【春】寒い冬を耐えた木曾に、梅や桜が一度に咲き誇り、遅い春が訪れます。そして木々が芽吹きだすと、個性豊かな色合いの新緑の競演が楽しめます。

【夏】木曾の夏は1年の中で一番活動的な季節。日中は暑くても木陰に入れば涼しく、短い夏の間には高山植物の花々を観察できます。

【秋】広葉樹の赤、黄葉と針葉樹の緑葉が山や溪流の景観に溶け込み、みごとなコントラストが見られます。

【冬】木曾の早い冬の訪れ。高い山には雪がかぶり、それを背景に木々に積もった雪、凍結した滝と、見どころ満載です。

●木曾の森の魅力

木曾の総面積のうち93%が森林で、そのうち50%を天然林が占め、森林全体の3分の2が国有林です。

18世紀初め、尾張藩が森林資源保護のため、当地の木曾五木(ヒノキ、サワラ、アスナロ、ネズコ、コウヤマキ)の伐採を禁止(1871年の藩有林廃止まで継続)したため、現在も多くの針葉樹が残っています。

このようなことから、木曾では針葉樹の大径木がまとまっている森林が今でも見られます。また、豊かな環境に育まれた水が流れる溪流や滝と森とが、美しいコントラストを見せてくれます。

さらに、鳥居峠や馬籠峠には中山道の、地蔵峠には旧飛騨街道の石畳の路跡があり、人々の歴史を感じながら森林を散策することができます。

●木曾の木や花

木曾の随所に木曾ヒノキを始めとした木曾五木、ヒメコマツ、ウラジロモミなどの針葉樹と、ブナ、コナラ、トチノキなどの広葉樹が見られます。木曾御岳自然休養林などの高山帯ではシラベ、トウヒなどの木々が見られます。

また、阿寺溪谷のハナノキ、赤沢自然休養林のオオヤマレンゲ、場所によってはアカヤシオやコブシ、長野県の準絶滅危惧種に指定されているササユリなどの花々も見るすることができます。



油木美林

春の芽吹きや新緑、秋の紅葉など、森には魅力がいっぱい。五感を使って歩こう!



●五感を使って森をランブリング

木曾の自然の中をランブリングすると、知らず知らずのうちに五感を使った森林セラピーを体感することができます。

【聴く】 鳥のさえずりや木の葉のふれあう音、滝の音、せせらぎの音など

【触る】 木の幹や木の実、木の葉、落ち葉、溪流の水など

【見る】 森林・溪流の景観や草花、野鳥、森林鉄道跡、星空など



【嗅ぐ】

木や花の香り、フィトンチッドなど

【味わう】

わき水や木の実、きのこ、山菜など

樹齢 100 年を超える巨樹も見られます

木曾五木

江戸時代が始まった頃、街づくりや城づくりに大量の木材が必要になって、森林の木がたくさん伐られちゃった。それで、保護が必要になったのよ。

ためになるね



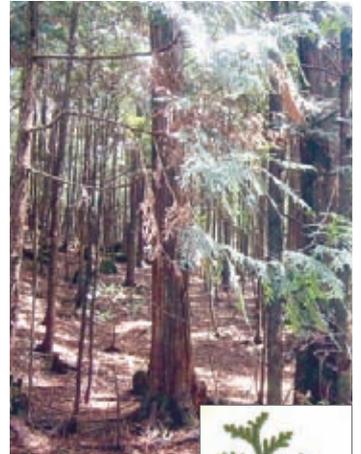
ヒノキ【檜】

樹高は 20 ~ 30m。木曾のヒノキは国産木材の中で最も優秀とされ、密で香気と光沢があります。法隆寺の五重塔に用いられているように、堅牢で腐朽にも耐えます。



サワラ

樹高は 30 ~ 40m。日陰に強く、沢地や窪地によく生育します。材質は耐湿性に富むので、家具や建具のほか、桶の材料に適しています。



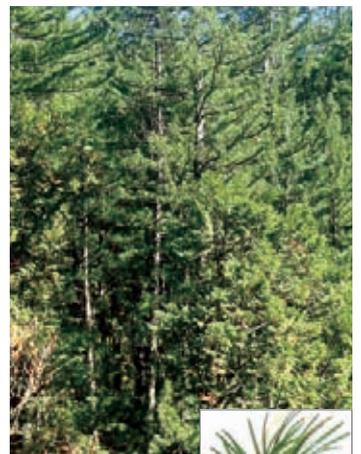
アスナロ

樹高は 30 ~ 40m。日陰にとっても強く、生長が旺盛で、木材は水に強く船材にも使われます。名前の由来は「明日はヒノキになろう」という意味。別名ヒバ。



ネズコ

樹高は 20 ~ 30m。黒部渓谷によく見られることから、クロバの名でも呼ばれます。材には独特の芳香があり、黒褐色の光沢があります。用途は建具や下駄など。



コウヤマキ

樹高は 30 ~ 40m。高野山によく見られるのが名前の由来。一属一種で日本特産。峰筋や岩石地によく生え、材質は水にとっても強いので、船や桶に使われます。



木曾の森

DATA



「木曾路は全て山の中」と言けれど

木曾郡は長野県西部の木曾川上流に位置し、北は木祖村、南は南木曾町までの3町3村からなります。総面積は長野県の11%に当たり、そのうちの森林面積は93%を占めています。

住宅地や農地がこれだけ!

民有林 55,565ha

総面積 154,626ha

国有林 89,545ha

- ・上松町
- ・南木曾町
- ・木祖村
- ・玉滝村
- ・大桑村
- ・木曾町



気温とか地形も知っておきたいかな。

木曾の気候は、内陸性気候の北部と、大平洋気候の温帯を示す南部にわかれています。地形は、木曾縦谷によって西部の飛騨山脈と東部の木曾山脈、さらに御岳火山地の3つに大別されます。

最高気温

33.7℃ (南木曾)

最低気温

-19℃ (開田高原)

年間降水量

2,009mm (木曾福島) ~ 3,354mm (御岳山)

最深積雪

最深積雪 87cm (開田高原)

※気象観測データは平成18~22年の5年間平均



木曽路アクセスガイド

主要都市からの長野県木曽町までのアクセス

 JRで

- ・新宿 — 中央本線 — 塩尻 — 中央本線 — 木曽福島
212km(特急で2時間24分) 42km(各駅停車で45分)
- ・名古屋 — 中央本線 — 木曽福島
132km(特急で1時間35分)
- ・長野 — 中央本線 — 木曽福島
118km(特急で1時間30分)

 車で

- ・東京 — 中央道 — 塩尻 IC — R19 — 木曽福島
約193km 約45km
- ・東京 — 中央道 — 伊那 IC — R361・R19 — 木曽福島
約205km 約32km
- ・名古屋 — 中央道 — 中津川 IC — R19 — 木曽福島
約70km 約60km
- ・長野 — 長野道 — 塩尻 IC — R19 — 木曽福島
約71km 約45km

木曽福島駅から

- | | |
|----------------|-------------------|
| ①鳥居峠……………15km | ⑥木曽御岳自然休養林…42km |
| ②水木沢天然林…27km | ⑦赤沢自然休養林……………23km |
| ③城山史跡の森…2km | ⑧阿寺溪谷……………28km |
| ④地蔵峠……………15km | ⑨田立の滝……………46km |
| ⑤油木美林……………20km | ⑩馬籠峠……………38km |

*木曽福島駅からマップ箇所最寄の駐車場等までのおおよその距離です。



鳥居峠 (木祖村・塩尻市)



木曽御岳自然休養林 (王滝村)



水木沢天然林 (木祖村)



赤沢自然休養林 (上松町)



城山史跡の森 (木曽町)



阿寺溪谷 (大桑村)



地蔵峠 (木曽町)



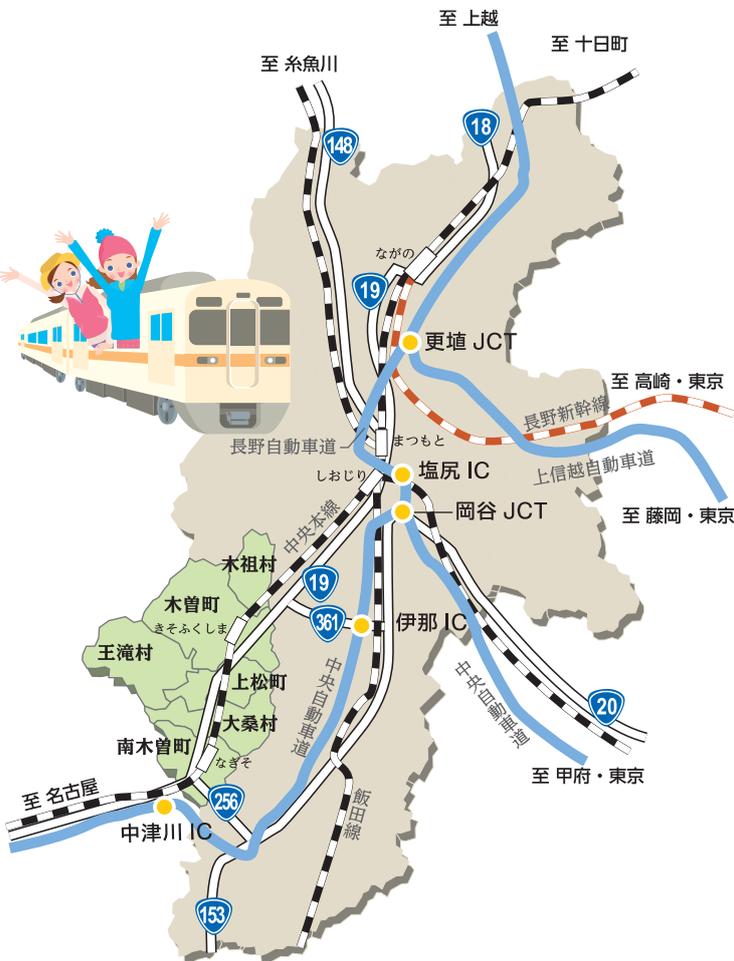
田立の滝 (南木曽町)



油木美林 (木曽町)



馬籠峠 (南木曽町・中津川市)



<お問い合わせ>

木曽森林ふれあい推進センター

〒397-0001 長野県木曽郡木曽町福島 1250-7
TEL0264(22)2122 / FAX0264(21)3151

木曽森林管理署

〒399-5604 長野県木曽郡上松町正島町 1丁目 4
TEL0264(52)2083 / FAX0264(52)2582

木曽森林管理署 南木曽支署

〒399-5301 長野県木曽郡南木曽町読書 3650-2
TEL0264(57)2400 / FAX0264(57)2686

※宿泊等詳細につきましては、各市町村または観光協会等にお問い合わせください。
※このマップは中部森林管理局のホームページからダウンロードできます。